

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体						
東区役所健康ふれあいひろば活用事業(ひがしふおと展)			東区役所自治推進課						
事業目的		事業効果		活動指標		R3			
<ul style="list-style-type: none"> ・区内の魅力を共有する。 ・地元の特性の再発見並びに地元意識の高揚を図る。 ・地域愛の醸成を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・区内の情報共有 ・区民等との協働による東区の魅力の発見・発信 ・一部参画への誘導 ・区民等による情報発信の誘発 		来場者及び参加者アンケートによる満足度の測定		81%			
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性			
○	区の魅力を発信する新たなイベントを実施することにより、地元の特性の再発見並びに地元意識の高揚に繋がる事業であった。	◎	東区在住・在勤・在学を対象に写真募集。写真を通じ区民自らが区の魅力を発信することで、参加型の啓発事業となった。展示期間には、来場者にお気に入りの作品を選んでいただく投票形式とすることで、区民等の参加意識の向上と東区の魅力の発見・発信に寄与したといえる。	◎	屋内での展示だけでなく、投票等により受賞作品決定後、健康ふれあいひろばにて屋外でも拡大した作品を展示することで、二段階で楽しんでもいただけるインパクトのある事業であった。	○	写真現物だけでなく、電子申請システムやメールでの受付も行うことで、短期間で幅広い年齢層の多くの方に応募いただくことができた。		
⑤自立発展性		総合評価							
△	作品の応募や、アンケートにて、健康ふれあいひろば等の今後の活用方法や実施について提案をいただき、地元の特性の再発見並びに地元意識の高揚を促進しているが、企画立案等、より区民に参画していただける事業へと発展させていく必要がある。	○	幅広い世代の方に応募及び来場いただき、作品の投票にも参加していただくことができた。また、東区の様々な景色やスポット等、魅力を発見・発信しながら楽しんでいただける事業であった。						
今後の方向性(課題、改善提案等)									
拡充 継続 見直し 廃止	今回のひがしふおと展は、初年度であり、応募者全員の作品を展示することができたが、今後認知度が高まり応募者が増加する場合、展示作品の選定や、十分なスペースが取れる展示場所の確保が課題となる。また、展示会場に行かなくても作品を見たいという意見があったため、HP等を活用し、足を運ばなくても参加していただける、展示方法を検討していく必要がある。								